いのちとくらしをまもる
防　災　減　災

岡山県の地震
令和6年(2024年)5月

目　次

○岡山県及びその周辺の地震活動（５月）
　震央分布図及び断面図　… １
　概　況　… １
　岡山県において震度１以上を観測した地震の表　… 該当なし
　岡山県において震度１以上を観測した地震の震度分布図　… 該当なし
○地震防災メモ　№221
　南海トラフ地震の監視領域内で発生した地震
　～2024年４月17日の豊後水道の地震～　… ２

●「岡山県の地震」は、月１回発行し、岡山県及びその周辺の地震活動をお知らせするとともに、適宜、社会的関心の高い地震について解説します。また、「地震防災メモ」により地震、津波に対する防災知識の普及等に努め、皆様のお役に立つことを目的としています。

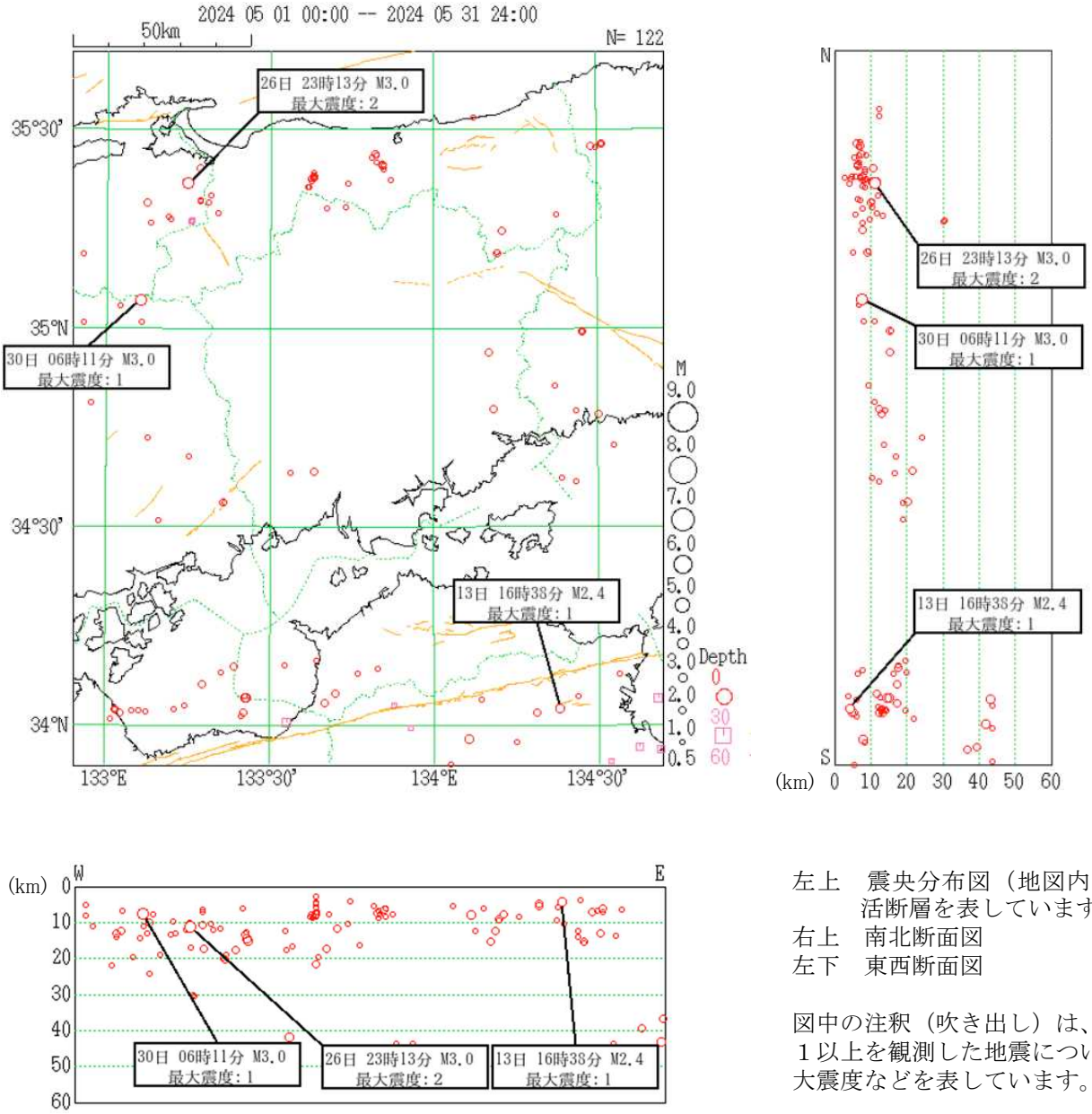
●この資料の震源要素、震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。

●本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。
また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

岡山地方気象台

岡山県及びその周辺の地震活動(5月)

震央分布図及び断面図



左上　震央分布図（地図内の細線は活断層を表しています。）
右上　南北断面図
左下　東西断面図

図中の注釈（吹き出し）は、震度１以上を観測した地震について最大震度などを表しています。

概況

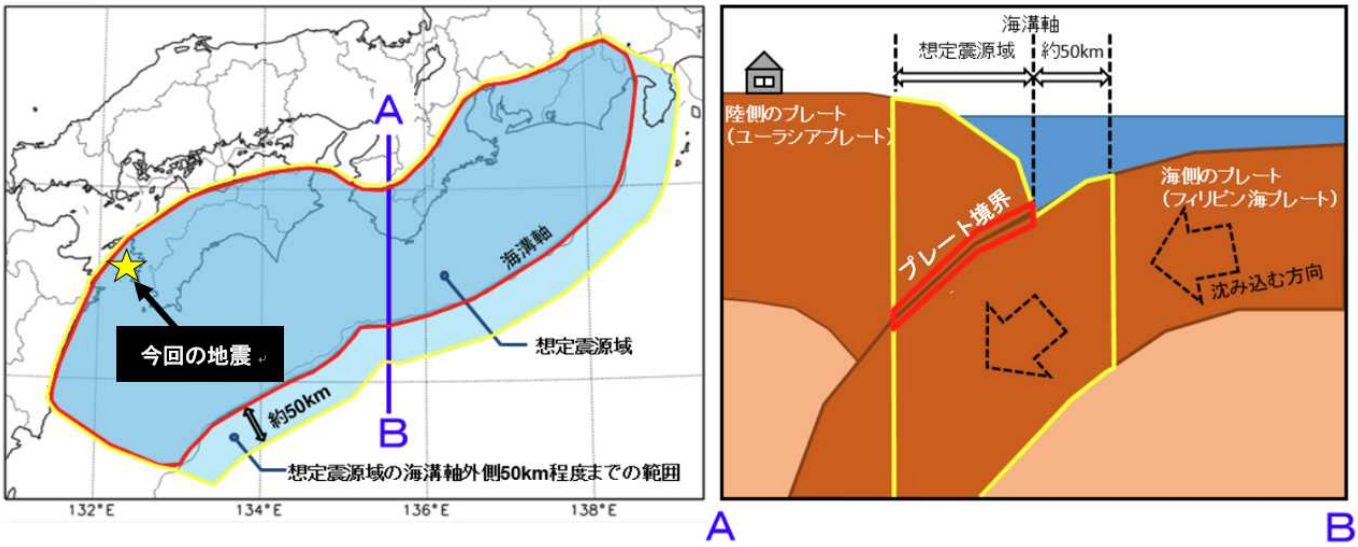
５月の概況
・５月に震度１以上の揺れが観測された、上図の範囲内の地震は３回（前月：０回）でした。
・岡山県で震度１以上の揺れが観測された地震は５月中は０回（前月：２回）でした。

地震防災メモ　No.221

南海トラフ地震の監視領域内で発生した地震
～2024年4月17日の豊後水道の地震～

発生した地震の概要＞

今年の4月17日23時14分、南海トラフ地震の想定震源域内の豊後水道で地震（マグニチュード6.6、震源の深さ39km）が発生しました。この地震により、愛媛県の愛南町、高知県の宿毛市で震度6弱を観測しました。地震はやや深い場所で発生したため、津波は発生しませんでしたが、関東から九州地方にかけての広い範囲で揺れを観測し、岡山県でも最大震度3を観測しました。



左図：南海トラフ地震の監視領域等を示す平面図　　右図：左図のA－Bを西から見た断面の模式図
・赤線は、最大規模の南海トラフ地震の想定震源域
・黄線は、監視領域（想定震源域および海溝軸外側50km程度）

南海トラフ地震との関連性について＞

南海トラフ地震の監視領域内においてマグニチュード6.8以上の地震が発生した場合に、気象庁は南海トラフ地震との関連性について調査する「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会（以下、「評価検討会」という。）」を臨時に開催し、南海トラフ地震臨時情報（調査中）を発表します。

今回の地震はマグニチュードが基準に達していなかったことから、評価検討会の開催には至らず、南海トラフ地震臨時情報（調査中）も発表されませんでした。

南海トラフ沿いの大規模地震が今後30年以内に発生する確率は70～80%で、いつ発生してもおかしくない状況です。日頃から地震への備えをしていただくことが重要です。